

## 実践記録(中1・学級活動)

### 1 ねらい

学級のルールを作る活動を通して、ルールを守り、情報機器を適切に使用することができる。

### 2 手立て

- マルチャンカード(家庭での使用状況を振り返るカード)の活用
- 情報モラル検討シートを活用した話し合い活動

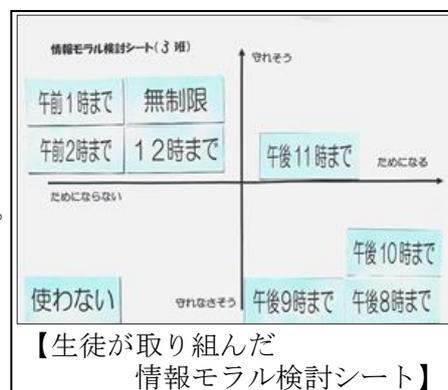
### 3 実践の様子

#### (1) これまでの経緯

1学期に携帯電話等の情報機器をどのように家庭で使用しているのか実態調査を行った。その結果、使用状況をチェックするカード(マルチャンカード)に「スマホの使用は12時までにする」「使うのは5時間以内にする」といったルールを作っている生徒がいた。それは、中学生にとって適切なルールとは言えない。学んだことを理解することができても、活用することがまだできていないことが分かった。そこで、学級独自のルール作りをすることにした。

#### (2) 実践について

中学生にとって適切な時間について理解してもらいたいと考え、「時間のルールをつくろう」と生徒に投げ掛けた。そこで活用したシートが「情報モラル検討シート」である。このシートには、横軸に自分たちのためになるかどうかという尺度と、縦軸に守れそうかどうかという尺度が書いてある。そのシートに時間を印刷したシールを置いていくことにした。シールは「午後8時まで」から「午前2時まで」の1時間刻みのものに加え「使わない」「無制限」というものも配布した。時間を印刷したシールをどこに置くか考える場面で、充実した話し合い活動をすることができると考えた。



生徒たちは守れそうかどうか、自分たちのためになるかどうかという観点で話し合い、シールを並べていった。シールを置く場所で考えの違いが出ると、話し合っていて決めていた。班で話し合った結果を学級全体で共有した。「塾があるから家の人と連絡を取りたい。」などという理由で、10時までというルールに決定した。

その後、生徒の意識を高め、決めたルールを守ることができたかどうかをチェックするために1学期に引き続き、今回もマルチャンカードによる生活の振り返りをしようと考えた。取り組みの後、全員のカードを集計してみると、わずかの生徒しか決めたルールを守ることができなかった。この意識を高めていくためには、継続した指導の必要性を感じるとともに、家庭との連携が必要であると実感した。

### 4 成果と課題

- 「マルチャンカード」を活用したことで、自分たちの日常生活を見つめ直すきっかけとなった。
- 話し合い活動を行う際に「情報モラル検討シート」を活用したことで、互いの生活を理解しようとするきっかけとなり、活発な話し合いをすることができた。
- 保護者との連携を大切に、継続的にルールを守る環境を整えることが必要である。